



技能実習適正化支援センターの渡邊です。2024 年は、私が技能実習制度に携わってから 20 年という記念すべき節目の年です。これまで多くの制度関係者と関わってきました。低く見積もって 1 日 1 人会って年間 200 日稼働したとして、合計 4000 人。様々な人と出会ってきましたが、どの方も一生懸命にしっかりと仕事をしていたと感じます。技能実習制度に携わる人には特徴があるように思います。今月号では、それを整理して皆さまにご紹介したいと思います。共感できることやできないことがあるかもしれませんが、私の経験に基づく感想として楽しく読んでくださいますと幸いです。

■ 技能実習制度において成功する人の特徴

技能実習制度に携わる人は、性格的に穏やかで落ち着いていて起業を志すような人は多くありません。自分の意志で動くというよりも、環境に応じて柔軟に自分を変化させる能力を持つ人が多いと思います。悪く言うと物事に流され易いとも言えます。外部からの要求に変幻自在に対応していく様子は芸術的であり、その懐の広さに感心させられます。あまり深く物事を考えないと言うと怒られそうですが、その場しのぎで目の前のことをあらゆる側面から考え準備する様子は抜け目がありません。「適当に」と言う語弊がありますが、まさにカメレオンのごとく器用に環境に同化して物事を多面的に捉える能力を活かして右にも左にも進めることができます。その意味において、強い意志を持って技能実習制度に携わる人は稀であり、居たとしても長続きしないのが実態だと思います。

技能実習制度において成功する人には 2 パターンあると思います。1 つ目のパターンは、表面上は穏やかで落ち着いているけれど秘めた思いは冷めていず、長期的な視野のもと決して焦ることなくじわじわと自分の目指す方向に物事を進める人です。摩擦を生むような時にも説得力を駆使して、かつ冷静に機械的に仕事をします。この人の思いは表明されていないこともあり、周りの人は決してこの人の思いに共感している訳ではありません。しかし、特に違和感なく日常の事としてその人と接し、周りを固めています。このようなことから、はたから見ているとその人を中心に物事が動いているように見えます。安定感のある制度運用は評価が高く、知らずの内にこの人の大きな流れの中に飲み込まれているという人が多いと思います。さしずめ「冷静で得体の知れない頼れる虎」とでも表現することができるかもしれません。2 つ目のパターンは、「働き者の明るいナマケモノ」です。このタイプの人は、一言で表すと「あきらめているが、悲壮感がない人」と言えます。自分からは決して動きませんが、他から与えられた仕事はきちんとこなします。自己評価はそれほど高くはありません。ノロノロと動いていないよう動き、周囲との協調を大切にして仕事をこなします。争い事は全力で避け、客観的にいるように行動しつつ社交性を発揮します。周囲の人は、この人には頼れないことを熟知していますが、自分に害を及ぼすことはないことも理解していて、関係を維持します。どんな場面においても中立的にしようと意見表明をしない様子は、従順に映り誰からもかわいがられます。

いかかでしょうか。皆さまの周りにいる人に照らし合わせて考えてみると何か分かることがあるかもしれません。いずれにしても技能実習制度に携わる人は、一見して花がなく目立たないが実は魅力的な人が多い印象です。別の業界からすると、何それ？という感想かもしれませんし、うちの業界にも当てはまりそう！という感想かもしれません。技能実習制度

が育成就労制度に変化していく過程では、現在活躍するカメレオンたちがその存在意義を間違いなく発揮するだろうと思います。変幻自在に適応することは容易に想像ができ、育成就労制度はこういった業界の人たちに助けられてスムーズに離陸していくと思います。

■ コラム：緊張関係

職場を評価するとき、よく使われるのが「人間関係」、「お金」、「やりがい、将来性」の三角形の図です。転職市場で有名な指標かもしれません。この3つの内、2つが低くなると人は転職を考えるとされています。また、このどれを重視するかは人によって異なるとも言われます。「お金」は、多いか少ないかで測れるし、「お金」なのか「やりがい、将来性」なのかどちらを選ぶかという議論もよく耳にします。ここで問題にするのは、「人間関係」。日本人は平和主義だし、「人間関係」は良い方が精神衛生上好ましいことから、職場の人と仲良くすることは組織にとっても個人にとっても大切なことだと思います。しかし、一方で「新しい取り組みは馴れ合いではなく緊張関係から生まれる」との考え方もあります。仕事よりも人間関係を優先してしまうことがあると、仕事の弊害になります。この点をはっきりと打ち出して有名になったのが、東京都知事選に出馬している前広島県安芸高田市長の石丸伸二氏です。彼によると仕事に緊張関係は必要な要素ということになります。皆さまはどうお考えですか。

~~~~~

弊センターは、技能実習制度や入管手続きに詳しい行政書士、社労士による外国人技能実習制度を取扱う専門機関です。行政書士の全国ネットワークを活用した体制を整え、監理団体などの申請手続きを支援します。外国語にも対応できます。

弊センターでは監理団体及び実習実施者に向けさまざまなサービスを提供しております。

手数料一覧は、弊社ホームページをご覧ください。

- 機構計画認定申請と入管申請
- 建設キャリアアップシステム代行申請、建設特定技能受入計画認定申請
- 外部監査
- その他（法的保護講習、各種労務関係手続き支援、相談、特定技能への移行）

~~~~~

技能実習適正化支援センター（Technical Intern Training Support Center）

代表 渡邊 奉勝

〒248-0023 神奈川県鎌倉市極楽寺 1-6-29

TEL/FAX : 045-8787-290 携帯 : 090-4710-3790

E-mail : info@titisc.org URL : <http://www.titisc.org/>